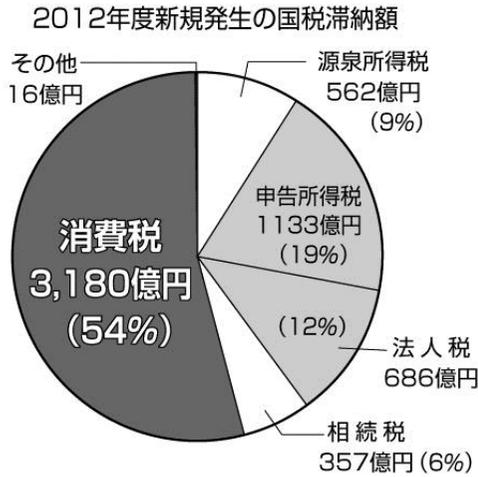


国税滞納の5割超が消費税



払いたくても払えない 中小零細業者の 実態浮き彫り

どんなに赤字でもとられる消費税は、中小零細業者にとって過酷な重税。国税の新規滞納発生納税額で消費税はダントツのワーストワンで、54%を占める。2011年度以降、連続50%超となっている。払いたくても払えない中小零細業者の実態を浮き彫りにしている。

*国税庁発表資料(2013年7月)より



暮らしの知恵袋

革靴は全体の^{みずぶ}水拭きで染みも消え

雨降りの日は革靴は避けたいのですが、多少の雨なら、脱いだとき古布で水分をふき、古新聞を詰めて水分をとれば大丈夫です。

ワックスや防水スプレーは、革の呼吸を妨げ、乾燥の元になるので、かけすぎないようにしましょう。革も適度な水分が必要で、乾きすぎると劣化、ひび割れの原因になるので、ときどき水ぶきするといいでしょう。雨で革靴に染みができたときは、むしろ全体を水ぶきすることで、染みが消えます。

ゆるく絞った古タオルで靴全体をまんべんなく水ぶきします。内部も水ぶきして汚れを取ります。風通しのいい場所で陰干しして、完全に乾いたら、古Tシャツなど布に乳化性クリームをつけて靴の表面をくまなく塗ります。最後にクリームが浸透するよう、靴ブラシでブラッシングします。

部屋の湿度は 60%以下に

湿度が高くなる季節、部屋に湿度計を置いて、湿度管理をしましょう。

人が快適に感じる湿度は一般的に 50%ぐらいで、70%を超えると気温にもよりますが不快に感じます。70%以上はカビにとって良好な環境です。65%を超えると雑菌が繁殖しやすくなるといわれます。さらに、ダニは 60%を超えると活発に動きます。つまり、室内を 60%以下に保つことができれば、快適に過ごせて、雑菌やカビの繁殖、ダニの動きを抑えることができるのです。

湿度計をチェックして、湿度が 60%以下になるよう換気扇を回すなど換気を心がけましょう。晴れた日には、必ず窓や戸を開けて部屋の隅々にまで風を通します。

洗濯物の部屋干しは、雑菌が繁殖し嫌な臭いが広がります。外に干せないときは浴室内に吊るして、扇風機で風を送りながら換気扇を回すといいでしょう。

